



角川

第二版

日本史 辞典

高柳光寿・

竹内理三編

角川書店

角川・第二版

日本史 辞典

高柳光寿・
竹内理三編



角川書店

角川日本史辞典

第二版



昭和41年12月20日	初版発行
昭和49年12月25日	第二版初版発行
昭和59年10月30日	第二版16版発行

編者	高柳光寿
	竹内理三
発行者	角川春樹

発行所 株式会社 角川書店

東京都千代田区富士見2-13-3

振替 東京 3-195208 番

電話 東京(238) 8551(辞書編集部)

8521(営業部)

印刷 横山印刷 製版 写研 製本 鈴木製本

編修のことば

今日、日本史辞典と銘うったものは少なくない。それらはそれぞれの特色を
もっているのであるが、それでもなお、ここにわたくしどもが「角川 日本史
辞典」を編修したのはそれにはそれなりの目的があるのである。

というのは、今日世に行なわれている日本史辞典は、大別して二種類に分け
られるようである。その一つは、歴史研究者の座右において、日常研究の便に
供するものである。この種のものには二十数巻をもって一部をなすものから、
時代別なり部門別にして、それぞれ専門的な解説をつけたものがある。他の一
つは、入学試験用のものである。これは、項目の選択からその解説まで、もっ
ぱら受験生の知識整理向きに編纂されている。

一般的にいて、前者は大部であって、常時いずれの場所にも持ち歩いてそ
のつと利用するには不便であり、後者は、その大きさにおいては携帯に便では
あるが、専門的研究者には不向きである。そこで、わたくしどもの「角川 日
本史辞典」は、この両者の長所を兼ね備えたものをつくるということを目的と
した。そのために、まずできるだけ項目数を多く取り入れることとした。しか
しあまり大部なものとなることをさけるため、解説はできるだけ要点にしぼる
こととした。本文 920 ページのうちに 1 万 3000 項目を収めたのは、項目数では
第一類の大辞典に劣らぬものと考ええる。

さらに編修者が特に注意したのは、政治・経済・文学・美術・宗教その他、
歴史上のあらゆる部面にわたることであるが、特に史料・古文書や古記録にあ
らわれてくる歴史的用語の歴史的解説である。

また、最近では、特に近代史に社会および学界の関心が深まりつつある。こ
れは、大戦前の国家体制から加えられた諸制約が取り除かれて、近代史におけ
る真実の追求が可能となったことによるものと思われるが、本辞典でも近代史
には特に力を加えた。

最後に、全体の 3 分の 1 のページをさいて加えた付録もまた、本辞典を利用
される研究者に多大の利器となろう。最近このような各種のものが出版されて
いる。それらは、それぞれ長所があるけれども、本辞典は内容が豊富で携帯に
便利である点では類を抜くものと自負する次第である。

本辞典の編集には、宇野俊一、木村礎、杉山博、鈴木敬三、田中彰、樋口清
之、古屋哲夫、宮次男の諸氏があたったが、各項目の執筆には 50 名に及ぶ同学
者の協力をお願いした。ここに執筆者各位に厚く感謝の辞をのべたい。編修者
として全項目に目を通したが、微力のため思わぬ誤謬や不統一を見過ごしてい
るかもしれない。これらは、みなさんの御叱正を仰ぎたい。

昭和 41 年 11 月

高 柳 光 寿
竹 内 理 三

第二版刊行に際して

「角川 日本史辞典」の第一版が刊行されてから、すでに8年になる。この間、この辞典は、小辞典にしては他の類書に見られぬほど多数の項目を盛りこんでいること、付録に多少の工夫をこらしたことなどにより、一般はもとより研究者にも便とせられ、幸いにも好評を得てきたようである。

しかし8年の歳月を経る間には、編者も気づき、読者からも指摘された誤りや訂正すべき箇所が少なからず見いだされた。また、その後の学界の進歩は著しいものがあり、それにともない第一版の細部において訂正を加うべきところもあらわれた。

今回の改訂にあたっては、これらの点を改めるとともに、新たに、郡制・司法制度などの通史的大項目や、アジアの生産様式・富豪層・大名領国制など、最近の学界で使用される基本的用語、第一版ではほとんどなかった考古学的遺跡・荘園・一揆などについても項を立てた。また近・現代史は世界史の一環としての理解が必要であるという見地から、中国・朝鮮をはじめとして西欧関係の項目にも意を用いた。これら新項目は、総計600項目をこえる。

付録についても、大幅に入れ替えを行って、いっそう利用度の高いものとした。今回は特に、視覚的要素を重視して、図版・絵図・地図・図表などを各時代にわたって多数収載し、理解を高める工夫とした。

もちろんこうした改訂は、第一版に手を加えることによりはじめて可能となったものであり、全体としては、第一版の発展したものである。

今回の改訂にあたっては、宇野俊一氏・杉山博氏・田中彰氏と、新たに参加を願った青木美智男氏・田村貞雄氏の尽力に負うところが大きい。さらに、第一版の訂正ならびに新項目の執筆は、60名にも及ぶ同学の協力を得てはじめて可能となった。第一版の責任編集者であった高柳光寿博士はすでに物故されておるが、もし御存命であれば、これら諸氏に深い謝意を寄せられることと信じ、博士に代わって一言、第二版の辞を述べる次第である。

昭和49年11月

竹内理三

この辞典を使う人のために

この辞典は、中学校・高等学校の各教科書をはじめ、研究解説書・史料集・各種辞典類などの中から、日本史全般にわたる学習および社会生活に必要と思われる1万3400項目を選び、見出しとして掲げた。各項目の取り扱いについては、原則として以下のような形式と順序によった。

なお、各種資料を中心とした450ページにわたる付録を加え、専門的な研究にも充分使用できるように配慮した。

I 見出しについて

- 1 見出しは現代かなづかいの原則によるひらがな・かたかな表記と漢字表記とした。

〔例〕 **あいきょうじゅく 愛郷塾**、 **かいづか 貝塚**

また、漢字表記が難読のもののために画引索引を付した。

- a 1項目に種々の呼称のあるものについては、最も歴史的なものを見出しとして掲げ、別称は解説文の最初に入れた。

また、別称が一般的なものについては検索項目を立てた。

- b 漢字表記は最も歴史的なものを当てたが、現在なお存続しているものについては現在行なわれている表記で示した。

〔例〕 **おおさかじょうばん 大坂定番**、 **おおさかじょう 大阪城**

- 2 人名には人名漢字を用い、姓名で示し、生没年を入れた。

- a 人名で音訓両様の読みがある場合は訓読みに従い、平安末期までは、姓と名との間に「の」を入れた。

〔例〕 **ふじわらのさだいえ 藤原定家**

- b 僧は法諱で示し、禅僧に限り号と名で示した。

〔例〕 **くうかい 空海**、 **みょうあんようさい 明庵栄西**

- c 外国人名はセカンドネーム（姓）を見出しとし、フルネームを補った。原音に近いもので表わしたが、ヘボン（Hepburn, James Curtis）のように慣用に従った場合もある。V音は一般にバビブベボで示した。

〔例〕 **スハンベルヘン Schambergen, Casper**、 **ビスカイノ Viscaino, Sebastian**

- d 儒学者・俳人・小説家などは姓と号で示した。

〔例〕 **おぎゅうそらい 荻生徂徠**、 **まつおばしろう 松尾芭蕉**、
もりおうかい 森鷗外

- 3 近世の藩名は、薩摩・長州・土佐・肥前藩と尾張藩を除き、地名原則によった。

〔例〕 **かなざわはん 金沢藩**、 **もりおかはん 盛岡藩**、 **わかやまはん 和歌山藩**

- 4 第二次大戦後は、政治的・社会的事象を中心とした。

- 5 検索頻度の特に高いと思われる別称や、他の項目に実質的な解説のあるものは、空見出しとして立て、ひで検索すべき項目を示した。

- 6 項目索引は、別称のうち空見出しとして立てなかったもの、および見出しは立てなかったが、解説文中に具体的な記述のあるものについてその項目を示した。

- 7 見出しの配列は原則として次の通りとした。

- a 五十音順

- b 清音・濁音・半濁音の順

- c 拗音・促音・直音の順

- d 和語・外来語の順

（外国語の長音はその直前の母音アイウエオと同音の位置においた）

- e 同音異字の場合は漢字表記の1字めの画数によった。

II 解説文について

- 1 年代は西暦で示し、括弧内に日本年号を示した。なお、外国に関する事項の場合は

日本年号を入れない。1872(明治5)12月2日以前は旧暦によった。

a 近代以前の西暦と日本年号の関係は、厳密に月日までを比定せず、改元年号で示した。近代以降は、月日を明記したものについては、慶応4、明治45も用いた。ただし、1926は大正15とした。

b 1872(明治5)12月2日までの西暦表記は、年の初めや終わりにずれが生じるので、日本年号を主体として読み取ること。

〔例〕下田条約の1854年(安政1)12月は「安政1年12月」と読み取る。西暦では「1855年2月」である。

c 4桁の西暦年号で同一世紀の年代が続く場合は、初めの2桁の数字を省略し、略記号'で示した。

〔例〕1617(元和3)……33(寛永10)……'39……………

ただし、日本年号が括弧内にはいる場合、および月などが続いて、読み誤るおそれのない場合には、略記号をもはふいた。

〔例〕1925(大正14)……31(昭和6)……43、5月……

d 南北朝時代の日本年号は、南朝・北朝の年号を併記した。

〔例〕1346(正平1・貞和2)……61(正平16・康安1)

2 解説文中、別に項目がある重要関連事項については/を付して参照させ、解説文中には出てこないが、関連項目として参照させたい場合には、文末に→を付してその項目を示した。→☞は付録参照を示す。

3 地名はその時代の表記で示し、近代以前の郡名には旧国名を付した。

〔例〕陸奥白川郡、武蔵榛沢郡

また、現在地名は、町村合併後の新町村名で示すようにした。

4 書籍・記録・史料に関する項目には、収録されている叢書・史料集を項目の末尾に〔 〕に入れて記した。〔刊〕は単行本のあることを示す。

また、以下のものは略号によったが、このほか「日本教育文庫」「大日本仏教全書」などの「日本」「大日本」をはぶき〔教育文庫〕〔仏教全書〕のようにしたものもある。

〔岩 波〕	岩波文庫	〔思想大系〕	日本思想大系
〔絵巻集成〕	日本絵巻物集成	〔集 覧〕	史籍集覧(改訂)
〔絵巻全集〕	日本絵巻物全集	〔史 料〕	大日本史料
〔温知叢書〕	近古文芸温知叢書	〔新 群〕	新群書類従
〔改 造〕	改造文庫	〔真宗大全〕	真宗聖教大全
〔角 川〕	角川文庫	〔新修大藏經〕	大正新修大藏經
〔近世実録〕	近世実録全書	〔統 群〕	統群書類従
〔近世社経〕	近世社会経済叢書	〔統 集 覧〕	統史籍集覧
〔群 書〕	群書類従	〔統 々 群〕	統々群書類従
〔経済大典〕	日本経済大典	〔統 大 成〕	統史料大成
	(日本経済叢書、続日本経済叢書を含む)	〔大 観〕	史料大観
〔校注文学大系〕	校注日本文学大系	〔大 系〕	国史大系(新訂増補)
〔古 記 録〕	大日本古記録	〔大 成〕	史料大成
〔国書刊行会〕	国書刊行会叢書	〔丹 鶴〕	丹鶴叢書
〔国 精〕	国民精神文化文献	〔珍 書〕	珍書大観
〔国民思想〕	国民思想叢書	〔東 洋〕	東洋文庫
〔故 実〕	故実叢書	〔日 史 選〕	日本史料選書
〔古典全集〕	日本古典全集	〔伯 家〕	伯家記録考
〔古典全書〕	日本古典全書	〔秘 籍〕	秘籍大観
〔古典大系〕	日本古典文学大系	〔保 存 会〕	古典保存会叢書
〔古 文 書〕	大日本古文書	〔未刊古注釈〕	未刊国文古註釈大系
〔雑 纂〕	史籍雑纂	〔未刊随筆〕	未刊随筆百種
〔史 纂〕	史料纂集	〔明治文化〕	明治文化全集
〔史 誌〕	文科大学史誌叢書	〔有 朋〕	有朋堂文庫
		〔列 聖〕	列聖全集

難訓画引索引

一 画

一上 いちのかみ
 一色田 いっしきでん
 一宗構 いっしゅうがまえ
 一家 いちのいえ
 一家衆 いっけしゅう
 一期分 いちごぶん
 一職 いっしき
 乙未の変 いっぴのへん

二 画

了誓聖岡 りょうよししょうがい
 二倍織物 ふたえおりもの
 入内 じゅだい
 入会 いりあい
 入色人 にゅうしきにん
 入流 いれながれ
 刀子 とうす
 力者 ろくしゃ
 十列 とおつら

三 画

下文 くだしぶみ
 下行 げし
 下行 げぎょう
 下襲 したがさね
 三兵答古知幾 さんべいたくち
 三所物 みどころもの 〔き
 三物 みつもの
 三昧耶形 さまやぎょう
 三教指帰 さんこうしいき
 三穗杖 さぎちよう
 上土持 うわつちもち
 上井覚兼日記 うわいかくけん
 上米 あげまい 〔につき
 上地 あがりち
 上所 あげどころ
 上知令 あげちれい
 上金 あげきん
 上泉伊勢守 こういずみいせの
 上野焼 あがのやき 〔かみ
 上卿 しょうけい
 久我氏 こがし
 乞巧奠 きこうでん
 凡河内躬恒 おおしこうちのみ
 千石徒 せんごくどおし 〔つね
 口入 くにゅう
 口分田 くぶんでん
 口宣案 くせんあん
 口遊 くちずさみ
 土生玄碩 はぶげんせき
 土師器 はじき
 大元帥法 たいげんのほう
 大犯三箇条 だいばんさんかじ
 大臣 おおおみ 〔よう
 大炊寮 おおいりょう
 大神伝説 おおみわでんせつ
 大連 おおむらじ

大給氏 おぎゅうし
 大間書 おおまがき
 大殿油 おおとなぶら
 大嘗祭 おおにえのまつり
 女方遺跡 おさかたいせき
 女王祿 おうろく
 女曲舞 おんなくせまい
 女蔵人 によろうど
 女孺 によじゅ
 子代 こしろ
 小忌 おみ
 小直衣 このうし
 小拾帳 こびろいちょう
 小路名 こうじな
 山家学生式 さんげがくしょう
 山樞玉 くちなしだま 〔しき
 川路聖謨 かわじとしあきら
 工部 たくみべ
 已講 いこう
 干鱗 ほしか
 万雑公事 まんぞうくじ

四 画

不孝 ふきょう
 不堪佃田 ふかんでんでん
 五衣 いつつぎぬ
 井上内親王 いのえのないしん
 井伊谷宮 いいのやぐ 〔のう
 井蛙抄 せいあしょう
 仁王会 にんのうえ
 仁寿殿 じじゅうでん 〔き
 仁和寺日次記 にんなじひなみ
 元三大師 がんさんだいし
 元亨釈書 げんこうしゃくしょ
 元和偃武 げんなえんぶ
 公人朝夕人 くにんちようじゃ
 公文 くもん 〔くにん
 公奴婢 くぬひ
 公式令 くしきりょう
 公達 きんだち
 公解 ぐかい
 公驗 くげん
 六月祓 みなづきばらえ
 内匠寮 たくみりょう
 内臣 うちつおみ
 内官家 うちつみやけ
 内歩 うちぶ
 内舍人 うどねり
 内管領 うちかんれい
 内膳寮 ないきゅうりょう
 内蔵寮 くらりょう
 内豎 ないじゅ
 切下文 きりさげぶみ
 化仏 けぶつ
 勾引 かどわかし
 反問 へんばい
 太占 ふとまに
 太秦 うずまさ
 天兒 あまがつ

孔子 くじ
 屯田 みた
 屯倉 みやけ
 戸主 へぬし
 手結 てつがい
 手纏 たまき
 文屋康秀 ふんやのやすひで
 方形造 ほうぎょうづくり
 方違 かたがえ
 日下貝塚 くさかかいづか
 日出藩 ひじはん
 日向 にこう
 日吉神人 ひえじにん
 日前国懸神宮 ひのくまくにか
 かすじんぐう
 日柳燕石 くさなぎえんせき
 月代 さかやき
 月次祭 つきなみのまつり
 欠米 かんまい
 欠腋 けつてき
 氏上 うじのかみ
 氏女 うじめ
 氏拳 うじのきょ
 水主役 かこやく
 火鎖白 ひきりうす
 牙笏 げしやく
 牙儻 すあい
 牛王 ごおう
 牛車 ぎっしゃ
 犬神人 いぬじにん

五 画

主典 さかん
 主基 すき
 他戸親王 おさべしんのう
 出水式土器 いずみしきどき
 出石藩 いずしはん
 出挙 すいこ
 功封 こうふ
 半濟 はんぜい
 半靴 はんか
 半頭 はつぶり
 市司 いちのつかさ
 市庭在家 いちばざいけ
 四至 ししい
 史 ふひと
 坎植 いりひ
 外位 がい
 外官 げかん
 外郎 ういろう
 外記 げき
 布袴 ほうこ
 平群氏 へぐりし
 平題箭 いたつき
 弘徽殿 こきでん
 弘田柵 ほったのき
 斥候 うかみ
 正法眼藏 しょうほうげんぞう
 正親町氏 おおぎまちし

永高 えいだか
 礼阿 らいあ
 甘田 あまきだ
 甘栗使 あまくりのつかい
 生立山 おいたてやま
 生実藩 おいみはん
 田令 たづかい
 田荘 たどころ
 甲利 かっさつ
 白馬節会 あおうまのせちえ
 石上私淑言 いそのかみささめ
 ごと
 石谷貞清 いしがやさきよ
 石直 こくおし
 石背国 いわしろのくに
 石城国 いわきのくに
 石釧 いしくしろ
 石蓋土壌 いしぶたどころ
 石築地 いしつじ
 立石寺 りっしやくじ
 立詔 たてじとみ
 旧事本紀 くじほんぎ

六 画

充行 あておこない
 交分 きょうぶん
 交名 きょうみょう
 伊吉博徳 いきはかとこ
 伊治皆麻呂 いじのあざまろ
 仿製鏡 ばうせいきょう
 次官 すけ
 刑部親王 おしかべしんのう
 列見 れけん
 先生 せんじょう
 刳来 はねまい
 咒山道白 まんざんどうはく
 印子金 いんすきん
 吉上 きちじょう
 吉口伝 きつくでん
 吉士 きし「もとしゅうせんき
 吉川経幹周旋記 きつかわつね
 吉胡貝塚 よしごかいづか
 合口襲棺 あわせぐちかめかん
 合毛 ごうけ
 合名 あいみょう
 合泰行 あいぶぎょう
 合米 あわせまい
 合野帳 あいのちょう
 合銭 あいぜに
 各務謙吉 かがみけんきち
 吐田座 はんだざ
 名主 みょうしゅ
 名田 みょうでん
 名簿 みょうぶ
 回向院 えこういん
 地下請 じげうけ
 地口銭 じくちぜに
 地方 じかた
 地頭名 じとうみょう
 地頭請 じとうけ
 多武峰 とうのみね
 多磯島 たねのしま
 夷 えびす

夷守 ひなもり
 字付帳 あざつけちょう
 字瓦 のきがわら
 字佐使 さづかい
 安宅船 あたけふね
 安名 あんみょう
 安和の変 あんなのへん
 安島帯刀 あじまたてわき
 安積良斎 あさかごんさい
 寺主 てらじゅ
 尖石遺跡 とがりいしせいせき
 年貢割付 ねんぐわっぷ
 行 こう
 行人 きょうにん
 行灯 あんどん
 行宮 あんぐう
 行器 ほかい
 行膝 むかばき
 扱箸 こきばし
 汗衫 かざみ
 成功 じょうごう
 成業 じょうごう
 攻 えびす
 早水台遺跡 そうずだいせいせき
 早良親王 さわらしんのう
 会合衆 えごうしゅう
 曲尺 かねざし
 曲水宴 かくすいのえん
 曲地 くせち
 曲直瀬玄朔 まなせげんさく
 曲舞 くせまい
 曲輪 くるわ
 有合質入 ありあわせしちいれ
 有官別当 うかんのべとう
 有家 ありえ
 有喜貝塚 うきかいづか
 有徳 うとく
 有職 ゆうそく
 朱楽菅江 あけらかんこう
 朽木藩 くつきはん
 氣質物 かたぎもの
 当合 あたりごう
 当荒 とうあれ
 当麻寺 たいまでら
 当逢 あたりあい
 糸威 いとおどし
 糸割符 いとわっぷ
 糸鞋 しかい
 色代銭 したきたいぜに
 衣縫部 きぬぬいべ
 西文首 かわちのふみのおびと
 西礪子曇 さいかんしどん
 七 画
 位封 いふ
 佚存叢書 いつぞんそうしよ
 余戸 あまりべ
 来島氏 くるしまし
 作合 さくあい
 作物所 つくもどころ
 作職 さくしき
 伴天連 バテレン
 伯太藩 はかたはん

冷泉院 れいぜいいん
 判官 じょう
 副定律令 さくいてりつりょう
 呉織 くれはとり
 坎日 かににち
 舞詞 よごと
 声聞師 しよもじ
 夾紵像 きょうちよざう
 夾纈 きょうけち
 宋胡録 すんころく
 宋葉藩 しそうはん
 巫現 ふげき
 役小角 えんのおづぬ
 振提鳥 えとろふとう
 抛銀 なげがね
 没官 もっかん
 沢海藩 そうみはん
 沈南鎮 しんなんびん
 沃懸地 いかけじ
 花押 かおう
 花魁 おいらん
 芸亭 うんてい
 芳野監 よしののげん
 防人 さきもり
 防鴨河使 ぼうかし
 忌子 いみこ
 忌寸 いみき
 志波城 しわじょう
 志筑藩 しづくはん
 忍冬文 にんどうもん
 更衣 ころもがえ
 村主 すぐり
 杜若 かきつばた
 杏葉 きょうよう「うえことば
 男灸三郎絵詞 おおすまさぶろ
 私市藩 きさいはん
 初参 ういざん
 初冠 ういこうぶり
 良弁 ろうべん
 見質 けんじち
 言国卿記 ときくにきょうき
 足半 あしなか
 足利義量 あしかがよしかず
 足高 たしだか
 采女 うねめ
 臣 おみ

八 画

京上夫 きょうのぼりふ
 京学派 けいがくは
 京銭 きんせん
 佩盾 はいたて
 供御 くご
 典座 てんぞ
 固関 こけん
 国人 こくにん
 国司信濃 くにししなの
 国名 くにな
 国忌 こき
 国東塔 くにききとう
 国造 くにのみやつこ
 国栖 ぐす
 坪移 つばなおし

空也念仏 こうやねんぶつ
空華日工集 くうげにつくしゅ
空勤文 うつばかもん しう
空紫色 うつぶしいろ
空頂黒幟 くうちょうこくさく
空穂 うつば
宗砌 そうぜい
宝相華文 ほうそうげもん
宝髻 ほうけい
定考 こうじょう
定使 じょうづかい
宛行扶持 あてがいふち
宛作 あてさく
岸駒 がんく
岡屋関白記 おかのやかんばんく
帖紙 たとう しき
延 のび
延繩漁業 はえなわぎよぎよう
怡土城 いとじょう
押書 あっしょ
治田 はりた
法被 はっぴ
紺平 こんへい
泥部 はつかしべ
油漆奉行 うるしよぎよう
若桜藩 わかさはん
阿礼 あれ
阿知使主 あちのおみ
阿直岐 あちき
阿瑪巷 あまかわ
阿曇氏 あずみし
忽那氏 くつなし
旻 みる
明山 あきやま
明経道 みようぎようどう
明法道 みようほうどう
明極楚俊 みんきそしゅん
肥富 こいとみ
枝郷 えだごう
臬宝 ごうほう
東遊 あずまあそび
荒雲新聞 しのめしんぶん
東漢直 やまとのあやのあたえ
步射 かちゆみ
版位 へんに
牧谿法常 もっけいほうじょう
玳瑁耳飾 けつじょうみみかざ
画工司 えだくみのつかさ しり
画部 えかきべ
直 あたい
直丁 じきちよう
直衣 のうし
直垂 ひたたれ
直務 じきむ
直綴 じきとつ
和泉監 いずみのげん
和薬改所 わやくあらためしよ
取箇 とりか
表高 おもてだか
表袴 うえのはかま
表着 うわぎ
金沢実時 かねざわさねとき
金剛杵 こんごうしよ

金峰山 きんふせん
金鼓 こんく
長百姓 おとなびやくしやう
長東正家 なつかまさいえ
青環門 せいさもん
青纒 あおざし
斉世親王 ときよしんのう

九 画

信楽焼 しがらきやき
俊仍 しゅんじょう
軍奉行 いくさぶぎよう
冠木門 かぶきもん
冠付 かむりづけ
前栽合 せんざいあわせ
巻襪 けんえい
城輪櫓址 きのわのさくし
桒 あずち
垣内 かいと
垣代 かいしろ
威 おどし
封戸 ふこ
度会家行 わたらいいえゆき
廻文 かいもん
建部 たけるべ
悔返 くいかえし
挂甲 けいこう
按察使 あぜち
指宿式上器 いぶすきしきどき
浅杏 あさぐつ
浅香社 あさかしや
海人部 あまべ
海北友松 かいほうゆうしょう
海石榴市 つばのいち
海老貴 えびせめ
海野勝珉 うんのしょうみん
独鈷石 とっこいし
芋 からむし
草鹿 くさじし
草鞋 わらんじ
荒妙 あらたえ
荒海障子 あらうみのそうじ
政始 まつりごとはじめ
春宮坊 とうぐうぼう
昼御座 ひのおまし
胡籬 やなぐい
柄在家 からざいけ
泉垂 むしたれ
柿経 こけらきよう
柏夾 かしわばさみ
柏原藩 かいばらはん
相对済法 あいたいすましほう
相物 あいもの
為登糸 のぼせいと
祝 はふり
祝部土器 いわいべどき
祝詞 のりと
神子上忠明 みこがみただあき
神戸 かんべ
神部 かんべ
神歌双紙 おもろそうし
神龍石 こうごいし
看管長 かどのおさ

秋地子 あきじし
相 あこめ
県犬養氏 あがたのいぬかいし
県召除目 あがためしのじもく
県令須知 けんれいすうち
貞成親王 さだふさしんのう
負所 おつしょ
逃散 ちようさん
追儼 ついな
飛鳥 あすか
飛驒工 ひだのたくみ
食封 じきふ
首 おびと

十 画

倚子 いし
淮后 じゅごう
夏地子 なつじし
宮衛令 くえいりよう
案内 あない
案主 あんじゅ
家人 けにん
家司 けいし
家抱 けほう
家船 えぶね
射遣 いのこし
帯刀 たちはき
帯剣役 たちはきのやく
徒 ず
徒士 ち
流鏑馬 やぶさめ
浮所務 うきしよむ
荷前 のさき
華原誓 かげんけい
華髻 けまん
華籠 けこ
透波 すっぱ
蜀曲 えいきよく
郡奉行 こおりぶぎよう
除目 じもく
除高 のぞきだか
院序下文 いんのちようくだし
院家 いんげ しぶみ
恭仁京 くにのみやこ
拳母藩 ころもはん
拳銭 ごせに
時簡 ときのふだ
書下 かきくだし
臨名 わきみよう
根来寺 ねごろじ
校倉造 あぜくらづくり
校書殿 きやうしよでん
格 きやく
格狹間 こうざま
烏帽子 えぼし
被衣 かつぎ
被物 かずけもの
茨田堤 まんだのつつみ
畔 くら
畔刈 うねかり
畔頭 くらがしら
破来頓等絵詞 やれことんとう
秣場 まぐさば しえことば

納所 なっしょ
耽羅島 とらのしま
射礼 じやらい
軒廊 こうろう
連事 つらね
通日雇 とおしひよう
釜座 かまんざ
高句麗 こうくり
高外 たかと
高向玄理 たかむこのくろまろ
高坏 たかつき
高野聖 こうやひじり
高麗端 こうらいべり
馬揃 うまぞろえ
馬道 めどう

十一画

修紫田舎源氏 にせむらさきい
健児 こんでい 〔なかげんじ
副寺 ふうす 〔ぎよう
勘定副奉行 かんじようそえふ
勘解由小路氏 かでのこうじし
勘解由使 かげゆし
碗飯 おうばん
執行 しゅぎよう
基肄城 きいのき
齋然 ちやうねん
宿毛貝塚 すくもかいづか
宿直 とのい
宿猿樂 しゆくさるがく
帷 かたびら
常滑焼 とこなめやき
帳外 ちやうはずれ
強装束 こわしようぞく
得撫鳥 うるつぶとう
捨歩 すてふ
掃部寮 かもんりよう
浄御原律令 きよみはらりつり
淑景舎 しげいしや 〔よう
濟口証文 すみくちしょうもん
猪牙船 ちよきぶね
著鉢政 ちゃくだのまつりごと
部曲 かきべ
都加使主 つかのおみ
都寺 つうす
都閑 つうふん
郷質 ごうじち
郷頭 ごうがしら
陶部 すえつくりべ
陸平貝塚 おかだいらかいづか
陸羯南 くがかつなん
陪家 ばいじやう
陪従 べいじゅう
救世観音 ぐぜかんのん
冕冠 べんかん
烽 とぶひ
狼煙 のろし
視告朔 こうさく
荏戸太華 のぞきとないか
率川祭 いざかわのまつり
瓶原離宮 みかのはらりきゅう
産土神 うぶすながみ
桂 うちぎ

移菊 うつろいぎく
施 あしぎぬ
紫香染宮 しがらきのみや
肅慎 みしはせ 〔の
軸向引出物 へむけのひきでも
袈裟繡文 けさだすきもん
転吉利支丹 ころびきりしたん
軟障 ぜじよう
野宮 ののみや
野宮定基 ののみやさだもと
釧 くしろ
釵子 さいし
雪洞 はんぼり
頂相 ちんぞう
魚屋北溪 ととやほっけい
黄文画師 きぶみのえし
黄植染 こうろぜん

十二画

章亭 からかさてい
傀儡 くぐつ
割符屋 さいふや
卿局 きやうのつばね
喜連川藩 きつれがわはん
堅魚木 かつおぎ
塔頭 たつちゅう
帽額 もこう
彈弓 だんぐ
彭城百川 さかきひやくせん
御所藩 ごぜはん
御物御画目録 ぎよもつおんえ
御修法 みしほ 〔もくろく
御師 おし
御教書 みきやうじよ
御斎会 ごさいえ
御湯殿上 おゆどのうえ
御贄 おさく
御影供 みえいく
御薪 みかまき
挿頭 かざし
損斐藩 いびはん
揚屋 あがりや
揚座敷 あがりざしき
揚操綱 あぐりあみ
道祖王 ふなどおう
隅田八幡宮 すだはちまんぐう
散齋 あらいみ
斑鳩宮 いかるがのみや
朝臣 あそん
朝所 あいたんどころ
朝餉 あさがれい
棄捐令 きえんれい
椋橋道家長 くらはしべのいえ
檢校 けんぎやう 〔なが
檢断職 けんだんしき
毬代 たんだい
齊浦 せいほ
税所 さいしよ
筭 こうがい 〔もん
粟生屋源右衛門 あおやげんえ
結政所 かななしどころ
結解状 けちげじやう
筭 こうえ

覚錢 かくばん
覚繁城 かくべつじやう
賀名生 あのを
貨稻 いらしいね
越石 こしこく
越階 おっかい
越訴 おっそ
軽尻 からつちり
道饗祭 みちあへのまつり
関妃暗殺事件 びんひあんさつ
間人 もうど 〔しけん
間直 まんなおし
間竿 けんざお
間飛脚 あいひきやく
間部詮勝 まなべあきかつ
集会 しゅうえ
雅楽寮 うたりよう
雲居寺 うんごじ
雲珠 うず
飢肥藩 おびはん
靱負部 ゆげいべ

十三画

催馬楽 さいばら
勤修寺家 かじゅうじけ
厩牧令 くもくりやう
厩庫律 きゅうこりつ
塙直政 ばんなおまさ
廈門 アモイ
倭役 ようえき
遠国奉行 おんこくぶぎやう
意須比 おすひ
愛宕通旭 おたぎみちあきら
愛発関 あらちのせき
新発田藩 しばたはん
煎海鼠 いりこ
新納忠元 にいらただもと
腰裏 たごし
盟神探湯 くがたち
碓 からうす
禰擋 りやうとう
裾 きよ
豊明絵草紙 とよのあかりえぞ
豊浦寺 とゆらでら 〔うし
解 げ
解由状 げゆじやう
解部 ときべ
鉄策 かね
鈴劍 すずくしろ
鉦 やりがんな
雷鳴堂 かみなりのつば
飾磨市 しまのいち
靴 かくのつ
預 あずかり、あずけ
預状 あずかりじやう

十四画

増田長盛 ましたながもり
寧波 ニンポー
漢氏 あやし
漢織 あやはとり
隠亡 おんぼう 〔ゆつ
隠首 括出 おんしゅ・かつし

敲 たたき
 榎木 くれき
 熊野牛王 くまのごおう
 熊襲 くまそ
 勝示 ばうじ
 蓋形蓮輪 かさがたはにわ
 蒲萄 えび
 襖 みそぎ
 稻生若水 いのうじやくすい
 稲置 いなぎ
 稻機 いなはた
 瓶 えびら
 篋 ぐこ
 管鐘 くだやり
 綬 おいかけ
 綺 いろうい
 綜麻石 へそいし
 裏頭 かとう
 賑給 しんごう
 銭繰 ぜにさし
 銅公事 あかがねくじ
 関東御入口地 かんとうごくに
 雑役免 ぞうやくめん [ゆうち
 雑芸 ぞうげい
 雑賀一揆 さいがいつき
 雑徭 ぞうよう
 鞆鞆 まっかつ
 領巾 ひれ
 駅子 えきし
 駅家 うまや
 京藏 いみくら

十五画

履 くつ
 幟頭 ばくとう
 撥鏝 ばちる
 蔵人頭 くらうどのとう
 蔵入地 くらいりち
 蔵王藩 ざおうはん
 慧尊 えがく
 戯作 げさく
 権記 ごんき
 柳 かく
 横川景三 おうせんけいさん
 蔚山の戦 うるさんのたたかい
 部 しとみ 「ちろく
 蔭涼軒日録 いんりょうけんに
 瑩山紹瑾 えいざんじょうきん
 監寺 かんす
 磐之媛命 いわのひめのみこと
 磐舟櫓 いわふねのき
 磐余 いわれ
 磐座 いわくら
 磐境 いわさか
 俣奥 あんだ
 蝙蝠 かわほり
 衝重 ついがさね
 諸色 しよしき
 調伊企 づきのいきな
 調所広郷 ずしよひろさと
 諸人 うけにん
 諸作 うけさく
 賦奉行 くばりぶぎょう

踏鞠 たたら
 鈔物師 いもじ
 餌香市 えがのいち
 駕輿丁座 かちょうのざ

十六画

冀東政權 きとうせいけん
 暖 あつかい
 慶米 りんまい
 濃絵 だみえ
 憑 たのみ
 膳夫 かしわで
 簿額 うすびたい
 磬 けい
 瓢鮎図 ひょうねんず
 繡 はししい
 螢蠅抄 けいようしょう
 賢聖障子 けんじょうのそうじ
 賭弓 のりゆみ
 頼納 たのみおさめ
 錦織部 にしごりべ
 綬 しおで
 頭椎大刀 かぶつちのたち
 髻華 うず
 鷗尾 しび

十七画

倭墳王 うてんおう 「たち
 藏物造太刀 いかものづくりの
 藏鳥経巻 いづくしまきょうか
 藏原藩 いずがはらはん [ん
 瑤囊抄 あいのうしょう
 彌彦神社 いやひこじんじや
 擬作 あてがい
 膳所藩 ぜぜはん
 檜原 あはぎはら
 瓶 こしき
 鍛冶司 かぬちのつかさ
 韓鍛冶部 からのかぬちべ

十八画

溫福抄 らんしょうしょう
 藤原伊尹 ふじわらのこれただ
 藤原宇合 ふじわらのうまい
 藤原敏子 ふじわらのせいし
 藤原倫寧女 ふじわらのともや
 すのむすめ
 藤原経繩 ふじわらのつぐただ
 替女 ごぜ
 襖 おう
 簪 かんざし
 櫻網 うんげん
 職事 しきじ
 職封 しきふ
 職員令 しきいんりょう
 職曹司 しきのぞうし
 観応の擾乱 かのうのじょう
 簀付取 りんつけとり [らん
 鎮花祭 はなしずめのまつり
 鎧直垂 よういひたなれ
 鎧 やり
 鎧役 かぎやく
 闇司 いし

關字 けつじ
 騎射 うまゆみ

十九画

櫓別 ろべち
 殯宮 あらきのみや
 彌宜 ねぎ
 彌殺氏 ねじめし
 稔座 おんざ
 警譯 けいひつ
 鑿 たがね
 鍍 やじり
 繡 ふいご
 鯨尺 くじらざし
 麴塵 きくじん

二十画

嚙鳴吐 おうめいしゃ
 懸銭 かけぜに
 藏園学派 けんえんがくは
 蘭草 いぐさ
 礪波山の戦 となみやまのたた
 競馬 くらべうま [かい

二十一画

灌頂 かんじょう
 灌頂幡 かんじょうばん
 額額 こうけち
 藏贖司 あがなひものつかさ
 鍍阿 ばんな
 饒益神宝 にょうえきしんぼう

二十二画

襲色目 かさねのいろめ
 襲芳舍 しほうしゃ
 讃岐典侍日記 さぬきのすけの
 贖物 あがもの [につき
 替 くつわ
 龜 がん

二十三画

纓 えい
 調符 けんぷ

二十四画

鷹甘部 たかかいべ
 鷹司院 たかつかさいん

二十五画

龜電鏡 だりようきょう

二十六画

蘭田 くじた
 蘭見検見 くじみけみ
 蘭組 くじぐみ

二十八画

璣丁 くわよぼろ

二十九画

鬱金 うこん

項目索引

この索引は、事件や人名・書名などの別称、および見出しから派生した事項で具体的な記述のあるものなどをとった。各欄の左に事項を、右にその事項が含まれている見出しを示した。

あ

藍瓶役 あいつ ……紺屋役 あいつ
阿育王山 ……育王山
愛国新誌 ……愛国志林
相沢三郎 ……相沢事件
会沢正志斎 ……会沢安 あさひ
藍染屋 あいのぞ ……青屋 あおや
朝所 あさ ……あいたんどころ
会津家訓 ……保科正之 あきまさ
間の村 ……問々の宿 あまのしゆく
合壁山 あがひ ……四壁林 あがひ
復興 あが ……あんだ
白馬陣 あが ……建礼門
青亭 あが ……芋 あま
青亭座 あが ……麻座
青地兼山 あが ……兼山秘策
青地麗沢 あが ……兼山秘策
襖袴 あが ……狩袴 あが
青葉城 ……仙台城
青法師 ……力者 あが
青屋大工・青屋坪立 ……青屋 あが
赤足金 ……足赤金 あかあし
赤い蠟燭と人魚 ……小川未明
赤絵呉須 あかえ ……呉須
明石掃部 あかし ……明石守重
明石検校 あかし ……明石覚一
明石虎之助 ……明石志賀之助
明石全登 ……明石守重
果たし 藩 ……延岡藩 あかし
赤鳥紋 ……垢取 あか
赤橋英時 ……北条英時
赤羽製作所 ……赤羽工作分局
赤間閣 あかし ……下関
赤松記 ……嘉吉記 あかし
赤松宗旦 ……利根川図志
赤松泰助 ……東洋社会党
赤引 あかし ……あかひきのいと
環宮 あかし ……あらしのみや
秋篠月清集 あかし ……九条良
経
明所山 あかし ……明山 あかし
秋田二朱銀判 ……秋田小判銀
秋田二分銀判 ……秋田小判銀
秋田立志会 ……秋田事件
秋月藩 ……高鍋藩
秋の除目 ……司除目 あかし
秋山酒邊 ……真明舎
阿Q正伝 ……魯迅
安位寺殿御日記 あかし ……経
覚私要抄 あかし
悪左府 ……藤原頼長
悪所 ……遊廊
不開門 あかし ……倭鑒門 あかし
明地 あかし ……上り屋敷 あかし
輕 あかし ……輕舎 あかし

綱子 あかし ……あみこ
浅井寿篤 ……紀尾井坂の変
浅草オペラ ……歌謡
浅草観音 ……浅草寺 あさくさ
朝倉宗滴 ……朝倉教景 あさくら
朝倉敏景 ……朝倉孝景
朝倉無声 ……武江年表
阿娑縛三国王匠略記 ……阿娑縛三国王匠略記
……三国王匠略記
アジアの共同体 ……アジアの
生産様式、奴隷制
芦田恵之助 ……生活綴方運動
朝所 あさ ……あいたんどころ
慮慎 あし ……みしはせ
馬酔木 あし ……アララギ
阿閼寺 あし ……石上宅嗣 あし
アショカ王 ……仏教
明日香井和歌集 ……飛鳥井雅
経
預所 あし ……あずかりどころ
預証文 ……預状 あし
預林 あし ……預山 あし
預地 あし ……あずかりち
預山 あし ……あずかりやま
上土門 あし ……あげつちもん
東夷 あし ……夷 あし
東錦絵 ……錦絵
東舞 あし ……東遊 あし
遊女 あし ……ゆうじょ
費・費直 あし ……直 あし
敵討 あし ……かたきうち
新しき村 ……武者小路実篤
厚額 あし ……薄額 あし
あづま歌 ……加藤枝直
集名 あし ……合名 あし
充行状 あし ……あておこない
じょう
充書 あし ……充所 あし
宛米 あし ……小作料
宛山 あし ……入会卸 あし
後絵 あし ……後絵付 あし
跡・跡目 ……跡職 あし
後摺 あし ……後版 あし
穴織 あし ……漢織 あし
孔王部・穴太郎 あし ……穴徳部
姉崎嘲風 ……姉崎正治 あし
阿芙蓉葉聞 ……塩谷右陰 あし
阿部定次 ……松平記
安倍神道 ……土御門神道 あし
阿倍倉梯麻呂 あし ……阿倍
内麻呂 あし
あほだら経 ……ちょぼくれ節
尼崎 ……河尻 あし
天社 あし ……天津神 あし

海士の刈薙 あし ……太田垣蓮
月
天野信景 ……塩尻
天野八郎 ……彰義隊
余歩 あし ……繩心 あし
余戸 あし ……あまりへ
復興 あし ……あんだ
阿彌陀来迎図 あし ……来迎図
綱主 ……綱元 あし
染部 ……あずち
雨僧正 ……仁海 あし
あめの夜の夢 あし ……菅野八郎
アメリカ彦蔵 ……浜田彦蔵
菖蒲御殿 あし ……菖蒲興 あし
脚結抄 あし ……富士谷成章 あし
アユチヤ王朝 ……羅羅 あし
荒井頭道 ……牧民金鑑 あし
新井日蓮 あし ……立正大学
荒子・荒師子 あし ……風子 あし
荒手結 あし ……手結 あし、騎射 あし
荒陵寺 あし ……四天王寺
阿良礼走 あし ……踏歌 あし
有余 あし 売り ……雑物替
有毛取 ……有毛検見 あし
有馬記・有馬伝記 ……有馬
信記
有馬龍造寺確執起元 ……有馬
晴信記
あるき ……定使 あし
歩衆 あし ……走衆 あし
淡路庵帝 ……淳仁天皇
粟田口流 ……御家流 あし
粟田殿 ……藤原道兼 あし
粟田宮 ……朝彦親王
阿波国大計帳 ……大計帳
安阿弥陀仏 ……快慶
安嘉門院四条 ……阿仏尼 あし
安家神道 ……土御門神道 あし
安石代 あし ……石代納 あし
案主長のけり ……検非違使片 あし
安祥寺僧都 ……惠運 あし
安政浅草銭 ……浅草銭
安政仮条約 ……安政五か国条
約
行殿 あし ……行宮 あし
安藤信睦 あし ……安藤信正
安南板金 ……安南金 あし
安保条約改定阻止国民会議 ……
安保開闢
安本 ……経済安定本部
暗夜行路 ……志賀直哉
飯篠若狭守盛近 あし ……

槍術そうじゅつ ……日本書紀通釈
 飯田武郷 ……けいし
 家司けし ……やぬし
 家主けし ……襖ふすま
 位襖いふすま ……衣箱えこ
 衣架えか ……衣箱えこ
 医学啓蒙 ……帆足万里はんそくばんり
 蘭笠 ……綾蘭笠あやらんり
 伊賀衆 ……伊賀者いげしや
 伊賀藩 ……上野藩うのはん
 斑鳩寺 ……法隆寺
 為記 ……拾芥記しゅうかいき
 伊吉連博徳書いきちれんはくとくしよ ……伊
 吉博徳、日記
 生川春明いけがはるあき ……近世女風
 俗考しよかう
 いくさ神 ……軍神
 生島神 ……八十島祭
 居久根いひね ……四壁林よへきりん
 門かど ……郁芳門ふくほうもん
 池魚役いけうゑ ……池運上いけうんじやう
 池小物成 ……池運上いけうんじやう
 池後寺いけのちうぢ ……法起寺ほつきじ
 池田家家譜集成 ……池田氏家
 譜集成
 意見状 ……意見
 異国渡海御朱印帳 ……異国御
 朱印帳
 率川神社すいせんじや ……三枝祭さんしき
 伊沢氏 ……留守氏
 石卒都婆いしそとば ……石塔
 伊地知季通 ……薩藩旧記雑録
 伊地知季安 ……薩藩旧記雑録
 石津の合戦 ……堺浦合戦さかいのうみくさ
 伊治苅麻呂 ……いじのあ
 ぎまろ
 石帯いしおび ……せきたい
 石間造いしまぞう ……権現造ごんげんぞう
 石原正明 ……律
 医正意いせいぎ ……堀杏庵ほりけい
 異称日本伝 ……松下見林
 位色いしき ……位袍いほう
 維新史八講 ……吉田東伍
 維新同志会 ……西田税さい
 井杉延太郎 ……中村大尉事件
 伊豆殿堀 ……野火止用水
 和泉太夫 ……金平郎
 井堰敷引いづみけひき ……溝敷引みぞひき
 伊勢郡代 ……山田奉行
 伊勢貞頼 ……書札礼しよさしれい
 伊勢集 ……伊勢
 伊勢大神宮儀式帳 ……皇大神
 宮儀式帳
 伊勢大神宮参詣記 ……坂氏さかぢ
 銚銭座しやうせんざ ……銭座せんざ
 伊勢守日記 ……上井兼寛日記
 伊勢町奉行 ……山田奉行
 伊勢山田町奉行 ……山田奉行
 異損 ……例損
 板石塔婆 ……板碑いちはい
 板倉伊賀守殿覚覚書 ……板倉
 政要

いたこ ……市子しち
 いたばかり ……田下駄でんがた
 一握の砂 ……石川啄木
 一円管領 ……円進止えんしんし
 一円本 ……円本
 市杵島姫いちきしまひめ ……市祭しちまつ
 一字御免 ……字書出じしよで
 一字状 ……字書出じしよで
 一字体 ……花押はなおし
 一条内経 ……書札礼しよさしれい
 一条摂政 ……藤原伊尹ふじわらのいひん
 一条経通 ……玉英たまひで
 一条流 ……礼阿れいあ
 一代一度大神宝使 ……一代一
 度奉幣ほうへい、大神宝使
 一任一度勤料 ……勤料きんりやう
 一人扶持ひとりしほ ……扶持
 一上いじやう ……いちのかみ
 一所いしよ ……一家いけ
 市庭沙汰人 ……市目代しちめだい
 一步刈いっぽかり ……坪刈つるかり
 一領一疋 ……一領具足
 伊都岐島 ……巖島いわし
 斎王いはい ……斎王いはい
 斎院いはい ……さいいん
 斎宮いはい ……さいぐう
 一季者 ……一季奉公人
 一見状 ……軍忠状
 一戸前 ……軒前のきりまへ
 一作引 ……高内引たかうちひき
 一止記 ……二水記ふたみづき
 五辻宮 ……五辻殿ごつじだん
 逸年号 ……年号、私年号
 一派構いっぺこう ……宗構そうこう
 乙未いつみづの变 ……閏妃略殺事件
 出居でい ……でい
 暇状ひまじやう ……去状きょじやう
 維那 ……都維那とゐな
 稻城いなり ……稻機いなり
 稻作改良論 ……横井時敬よこいときやう
 因幡豊饒太平記いんぱんゆわにたいへい ……因
 伯民乱太平記はくみんらんたいへい
 稻葉正巳 ……海軍總裁
 居成公文いなりぶん ……公帖こうしち
 犬王 ……近江猿樂おうみさるがく
 大養木堂 ……大養殿おほやしだん
 いぬゆき ……犬走り
 異年号 ……私年号
 井上高格 ……自助社
 井上良馨 ……海軍大学校
 居林いりん ……四壁林よへきりん
 位分資人 ……資人しじん
 今川壁書けいしやう、今川手本 ……
 今川状
 今川了俊書札礼 ……書札礼しよさしれい
 湯巻ゆまき ……ゆまき
 今切閑 ……新居閑しんきくわん
 今内裏 ……里内裏
 今浜 ……長浜
 伊万里焼 ……有田焼
 芋代官 ……井戸平左衛門
 井守いもり ……井司職いしやく

伊子緋いしひ ……鍵谷カナ
 伊予阿蘭梨いよあらんり ……日頂にちたけ
 貸税かいたし ……貸稲かいたし
 入江為兼 ……京極為兼
 入籠 ……入会いりかい
 入田整三 ……群書一覽
 入野 ……内山うちやま
 入山 ……入会いりかい
 入満・由妻漫いりみち・ゆま ……伊留満いりみち
 入元結いりもとむす ……元結もとむす
 入替屋 ……入替両替
 入質 ……質入しちいり、書入しよいり
 入墨・文身いりすみ・ぶんしん ……入墨
 色絵 ……赤絵
 色毛検見 ……色取検見しきとりけんけん
 色取 ……毛付取けけりとり
 祝部式土器 ……須恵器すゑき
 岩倉久子 ……爱国婦人会
 岩古曾貝塚 ……曾畑貝塚そはたか
 岩成友通 ……三好三人衆
 岩湖夜話 ……大道寺友山
 石船棚 ……磐舟棚いわふねだ
 岩松氏 ……新田氏
 岩本佐七 ……燕石十種えんししちゆしゆ
 岩屋物語 ……岩屋の草紙
 尹始炳いんしはう ……一進会
 殷汝耕いんじやう ……冀東政權きとうせいけん
 飲茶勝負 ……闘茶
 院司いんし ……いんし
 尹宮いんぐわ ……朝彦親王
 院派 ……七条大宮仏所
 忌部正通きべのただとほ ……日本書紀口
 訣くわく
 伊部焼 ……備前焼
 院役 ……天役てんやく
 印文いんぶん ……印判状いんはんじやう

う

上杉綱憲 ……興讓館
 上杉鷹山 ……上杉村憲うさぎむらけん
 うえのきぬ ……袍ほろ
 上野理一 ……村山龍平、朝日
 上宿うしやう ……宿直しゆくちく [新聞
 種芸拾穂集しゆげしゆくしふ ……池上太
 郎左衛門
 うえ屋 ……御湯殿上おの湯の
 魚河岸 ……魚市場
 宇槐記抄 ……台記たいき
 うかれめ ……遊女うでよめ
 浮織 ……浮文うきぶん
 うけ ……釜かま
 請所きんじよ ……うけしよ
 請免 ……居検見いけんけん
 うけらが花 ……加藤千蔭
 右近衛陣 ……月華門げつわもん
 宇左記 ……台記たいき
 宇佐和氣使 ……宇佐使うさし
 宇治川集 ……新勅撰和歌集
 宇治左大臣 ……藤原頼長ふじわらのよりなが
 宇治左府記 ……台記たいき
 氏長うぢちやう・氏宗 ……氏上うぢじやう
 右衛門 ……永安門
 有心連歌しんしんれんか ……連歌

太秦寺^{うづまさ} …… 広隆寺
歌懷紙^{うたわかし} …… 詩懷紙
宇田川樓斎^{うだがわろうさい} …… 宇田川玄真
歌比丘尼^{うたひくし} …… 熊野比丘尼^{くまのひくし}
内曲輪^{うちまわ} …… 曲輪^{まわ}
打捨^{うちすて} …… 切捨御免
内蔵^{うちざう} …… うちくら
内寺^{うちでうら} …… 内道場^{うちみちばう}
打梨^{うちり} …… 強装束^{きやうさうそく}
内野^{うちの} …… 内山^{うちやま}
内膳司^{うちでんし} …… ないぜんし
内薬司^{うちやくし} …… ないやくし
内御内書^{うちみみづかき} …… 御内書
内染司^{うちせんし} …… ないせんし
内命婦^{うちのみづめ} …… ないみようぶ
打平^{うちひら} …… 鉛銭^{えんせん}
打平銭^{うちひらせん} …… 京銭^{きやうせん}
打米^{うちまい} …… 打荷
内間金丸^{うちまかん} …… 尚氏^{しやうし}
内人^{うちひと} …… うちびと
宇都宮信房^{うとみやのぶふさ} …… 泉涌寺^{いみづのうみでうら}
宇都宮雄綱^{うとみやのうすけ} …… 宇都宮黙森^{うとみやのもくもり}
独木舟^{ひとりふね} …… 列舟^{りよくふね}
腕玉^{うでたま} …… 手鐲^{てりやう}
有徳文名^{うとくぶんめい} …… 有徳銭
乳母^{うちめ} …… めのと
右兵衛陣^{うでべゑじん} …… 陰門門^{いんもんもん}
産子^{うぶこ} …… 産土神^{うぶつちのかみ}
右舞^{うでまい} …… 舞楽、雅楽
馬医^{うまゐし} …… ばい
馬寮^{うまがし} …… めりよう
馬轡^{うまづな} …… 馬印^{うまいん}
厩橋藩^{うまはしはん} …… 前橋藩
浦証文・浦手形 …… 浦切手
裏なし …… 緒太^{おと}
卜部兼俱^{うらべのかみ} …… 吉田兼俱
唯一神道名法要集^{いちにんしんどうなみぽうようしふ}
裏松光世 …… 大内裏因考証
売問屋 …… 買問屋
漆部司^{うるしべ} …… ぬりべのつか
さ
漆役 …… 漆年貢^{うるしねんきやう}
上絵具 …… 上絵釉^{うしえい}
表指^{うしさし} …… 狩勝^{かりかち}
上巻^{うしまき} …… 懸紙^{かみ}
雲客^{うんかく} …… 堂上^{どうじやう}
疊綱^{うすづな} …… 縁綱^{えんづな}
雲州往来 …… 明衡往来^{めいけいわらい}
雲上人^{うんしやうじん} …… 堂上^{どうじやう}
雲上聞録 …… 簾中抄^{れんちゆうしやう}
雲堂 …… 禪堂
雲萍雜誌^{うんぺいし} …… 柳沢洪園^{りやうさくこうえん}
運命 …… 幸田露伴

え

永請山^{えいしやう} …… 入会卸^{いりかいおろし}
永源寂室和尚語録 …… 寂室元
光^{くわう}
叡山 …… 比叡山
瑩山清規 …… 瑩山紹理^{えいざんしやうり}
瑩山録 …… 瑩山紹理^{えいざんしやうり}

叡昌山 …… 本法寺
永銭 …… 永楽銭
永代預・永代作 …… 永小作^{えいせうさく}
永代作手 …… 永作手^{えいさく}
永代知行国 …… 知行国
永代返^{えいだいへん} …… 本銭返^{ほんせんへん}
永積^{えいせき} …… 永高^{えいこう}
永別^{えいべつ} …… 永高^{えいこう}
永盛^{えいせい} …… 永高^{えいこう}
永楽条約 …… 応永条約
絵入り狂言本 …… 狂言本
営料 …… 農料
絵因果経 …… 過去現在因果経
絵巻
柄鏡式古墳 …… 柄鏡塚^{へいけいづか}
恵我溪伏岡陵^{けがけふくおか} …… 応
神天皇陵
江川太郎左衛門 …… 江川英龍^{えいりゆう}
慧鑑明照禪師 …… 希世彦彦^{きよよ}
駅家^{えきや} …… うまや
駅起田 …… 駅田
駅亭 …… 問屋場
駅連貯金 …… 郵便貯金
駅伝制 …… 駅制
会下山遺跡^{かいざんいせき} …… 高地性集
落
恵山式土器 …… 続縄文文化
蝦夷志料 …… 前田夏蔭^{ぜんてんかえい}
蝦夷草紙 …… 最上徳内^{もがみとくうち}
蝦夷代官 …… 蝦夷管領
枝文^{えだぶん} …… 四度使^{よどし}
枝村^{えだむら} …… 枝郷^{えだちやう}
越後の弁 …… 大式三位^{おほしきさんい}
越前農具株式会社 …… 越前
鎌^{かみ}
慧灯大師 …… 蓮如兼寿^{ねんじやうけんじゆ}
江戸絵 …… 錦絵
江戸學問所 …… 昌平黌^{しやうへい}
絵解比丘尼 …… 熊野比丘尼
江戸金道^{えどきんどう} …… 金相場会所
江戸実情誠斎雜記 …… 誠斎雜
記
江戸万古 …… 万古焼^{まんこやき}
NHK …… 日本放送協会
夷昇^{えいしやう} …… 夷子舞^{えいこぶ}
えびすまつり …… 間直^{まなち}
恵比須回^{えびすまわ} …… 夷子舞^{えいこぶ}
江別式土器 …… 続縄文文化
烏帽子付 …… 冠付^{かんづけ}
烏帽子道服 …… 道服
烏帽子名 …… 元服
絵本太閤記 …… 太閤記
蝦夷^{えぞ} …… えぞ
恵林寺 …… 快川紹喜^{かいせんしゆき}
川崎^{かわさき} …… 曲象^{まがさか}
遠思樓詩鈔 …… 広瀬淡窓
遠西医範 …… 宇田川玄真
円珍伝 …… 三善清行^{さんぜんしやうぎやう}
円通大応国師 …… 南浦紹明^{なんぷしやうめい}
円爾弁円 …… 弁円円爾^{へんえんえんに}

演武館 …… 島津重豪^{しまづしげたか}
延宝騒動 …… 郡上一揆^{ぐんじやういつ}
円満井座^{えんまんゐざ} …… 金春座^{きんはるざ}
円満本光国師 …… 大休宗休
円明大師 …… 無文元選^{むぶんげんせん}
延暦儀式帳 …… 皇大神宮儀式
帳、止由気宮儀式帳^{とよぎみやぎしきしやう}

お

笈日記^{おきにちぎ} …… 各務支考^{かむししこう}
大兄^{おに} …… 大兄^{おに}
王阿 …… 御影堂派^{みかげだうは}
黄印状^{わういんじやう} …… 印判状^{いんぱんじやう}
小右記^{せうぎ} …… しようゆうき
扇一揆 …… 桃井氏^{ももゐし}
応議者 …… 請減^{しんげん}
御讀書^{みよく} …… 五人組帳
押頼^{おしより} …… 夾頼^{くわより}
応化仏^{おうけぶつ} …… 化仏^{けふつ}
応減者 …… 請減^{しんげん}
王権神授説 …… 絶対主義
奥州記 …… アマチ
奥州道中 …… 奥州街道
往生講 …… 阿彌陀講^{あみだこう}
応請者 …… 請減^{しんげん}
黄檗山志^{わうはくざんし} …… 隠元隆琦^{いんげんりやうき}
近江聖人 …… 中江藤樹
青梅編^{おうめへん} …… 木綿
大石内蔵助 …… 大石良雄
大炊門^{おほいけかど} …… 郁芳門^{うけふかど}
大炊門病院^{おほいけかどびやういん} …… 式子内
親王^{しきしうちんのう}
大歌^{おほうた} …… 小歌、催馬楽^{うまがし}
大内義弘退治記 …… 応永記^{えいねい}
大内親通 …… 七代寺巡礼私記、
七代寺日記
大鷲^{おほしゆ} …… 檜扇^{ひせん}、相扇^{さうせん}
大内内焼 …… 鍋島焼
大内政所^{おほいねのせいしよ} …… 大政所^{たいていせいしよ}
正親町神道 …… 正親町氏^{せいしんちやうし}
大肝煎^{おほきかん} …… 大庄屋
大切小切^{おほきせうきり} …… 石代納^{いしかしろのう}
大草弼^{おほくさすけ} …… 南山巡狩録
大口屋治兵衛 …… 十八大通
大藏虎明 …… 大藏流
大坂御藏 …… 御藏^{みくら}
大坂銀造^{おほさかぎんぞう} …… 金相場会
所
大坂三品取引所 …… 三品取引
所^{さんしんとりひきしよ}
大阪週報 …… 大日本労働協会
大坂菱垣廻船積問屋二十四組
…… 二十四組問屋
大須磨三郎絵巻物 …… 男衾三
郎絵詞^{おほすまろさんしやうえいし}
仰書^{おほしやう} …… 女房奉書
太田黒伴雄 …… 神風連の乱
大館常興書札抄 …… 書札札^{しやうさくしやう}
大塚啓三郎 …… 益子焼^{えきやき}
大塚武松 …… 藩制一覽
大槻伝蔵 …… 加賀騒動

大筒台場 ……御台場おだいば
 大塔宮おほいたみや ……護良親王ごらうしんおう
 大伴孔子古おほなわらこし ……粉河寺こながわでら
 大伴門 ……朱雀門すざくもん
 おおなむらのみこと ……大國
 主命
 大城おほしろ ……大野城おほのしろ
 車前草くるまぜんそう ……若山牧水
 おおはし ……田下駄
 大橋図書館 ……大橋新太郎
 大原談義 ……大原問答
 大原女おほはらめ ……おはらめ
 大番領おほばんりやう ……大番舎人おほばんしやにん
 オオヒルメムチ ……天照大神
 大的おほい ……射步あしふみ
 大忌おほいけ ……散敷さんしき
 御履ごりふ ……ぎょじ
 大御堂おほみどう ……勝長寿院かつちやうじゆいん
 大宮家 ……四条家
 大宮大相国 ……藤原伊通ふじわらいつう
 大神神社おほしんじや ……三輪神社
 公方こうはう ……くほう
 大八洲おほやちう ……国生み神話
 大八洲の霊 ……八十島祭
 大山寺おほやまでら ……たいせんじ
 大射おほや ……射步あしふみ
 御買米 ……御買上米おみかみ
 岡倉覚三 ……岡倉天心
 岡崎信康 ……松平信康
 岡沢安度 ……懷月堂派
 御貸金 ……貸付金
 岡千仞おかくち ……尊攘紀事
 緒方正 ……若山儀一
 岡引おかくし ……目明めあき
 岡屋兼経公記おかくやかねつこうき ……岡屋
 関白記かんぱくき
 岡本寺 ……法起寺ほっしきでら
 小川愛道 ……大坂町鑑おほかわあいだう
 小川頼道 ……慶康談おほかわよりみち
 息長足姫尊おきながあしひめのみこと ……神功
 皇后こうごう
 沖繩学 ……伊波普猷いばふくゆ
 沖繩県祖国復帰協議会 ……祖
 国復帰運動
 沖繩時論 ……沖繩俱樂部
 小久保藩おこくぼはん ……こくぼはん
 奥村明子 ……平塚重鳥
 奥右筆 ……右筆みぎひら
 御蔵入 ……蔵入地くらいり
 小倉親王 ……兼明親王かねあきしんおう
 御蔵浜 ……御手浜ごてひら
 御蔵前 ……浅草御蔵
 御蔵前入用 ……蔵前入用くらまへいりよう
 おくり・送文 ……送状
 意状いじやう ……意文いぶん
 おこない様 ……おしら神
 御米蔵 ……御蔵ごくら
 尾崎聖堂 ……尾崎行雄
 小崎弘道 ……六合雜誌ろくごふし
 尾崎雅嘉おしきまさ ……群書一覽
 納殿のくだん ……御倉町
 納宿のくしゆく ……蔵宿くらしゆく
 押紙 ……壁書かき、張紙

押小路氏 ……中原氏
 押小路師守 ……師守記ししうき
 おしやらく ……飯盛女いひもりめ
 御住居様 ……御守殿
 小田彰信 ……廃絶録
 御鷹場おてやば ……御拳場おけんば
 小田助四郎 ……朱座しゐ
 御建山おたて ……御林おのり
 落合式土器 ……真間式土器
 落穂集 ……大道寺友山
 御使雑色おしづき ……雑色ざしき
 小槻長興 ……長興宿禰記ちやうきしゆくみき
 追而書おいつて ……袖書そでがき
 御伽婢子ごてがひ ……浅井了意
 御留場おとどめ ……御拳場おけんば
 御取箇御帳おとりかみごちやう ……郷帳ごうちやう
 御取箇筋御改革 ……寄場組合
 御成箇御帳おなりかみごちやう ……郷帳ごうちやう
 御成箇割付 ……年貢割付ねんきんわりふ
 御繩打水帳 ……繩打じゆだ
 追儻おいつ ……ついな
 オノグロ島 ……国生み神話
 小野の后おののきさき ……藤原歎子ふじわらのはなこ
 小野僧正 ……文觀ぶんくわん
 小野篁集 ……小野篁おののけ
 小野宮殿 ……藤原実頼
 小野雪見御幸絵巻 ……雪見御
 幸絵巻ゆきみご
 小野派一刀流 ……神子上忠明
 小野春信 ……三池炭坑
 小野門跡 ……随心院
 小野山供御人おののやまくみごにん ……小野供
 御人ごにん
 小野六帖 ……仁海にかい
 御咄衆おどくしゆ ……御伽衆ごてがしゆ
 御林箇所付帳おのりかみところふちやう ……御
 林帳おのりちやう
 小原克紹 ……長崎志
 小壱田寺おしわたでら ……豊浦寺とよのうらでら
 御船手頭 ……船手頭ふねて
 御船手組 ……水軍
 御船大将衆 ……船手頭ふねて
 御船奉行 ……船手頭ふねて
 芋麻 ……芋いも
 御室書籍目録ごむろしよきめく ……本朝
 書籍目録しよきめく
 面聚おもひ ……鞆たも
 おもかるさま ……石占いしうら
 面 ……能面
 表絵師 ……奥絵師
 表紙おもて ……懸紙かみ
 表歩 ……内歩うちふみ
 表右筆 ……右筆みぎひら
 親郷 ……枝郷えちやう
 おやとり ……親子成おやこなり
 御山 ……御林おのり
 尾山城 ……金沢城
 和蘭記典わらんきでん ……神田孝平
 和蘭訳箋わらんやくせん ……前野良沢
 折烏帽子 ……烏帽子くろがき
 折句 ……前句付まへくち
 卸山 ……入会卸いりあひおろ

尾張家 ……斯波氏しば
 尾張徳川家 ……徳川氏、御三
 家
 御請書ごうけがき ……五人組帳
 恩栄録 ……廃絶録
 御画可ごがく ……詔みこと
 御画日ごがくひ ……詔みこと
 恩賀島・御香島 ……蔵島くらじま
 御次第ごしだい ……建武年中行事
 鑑蔵録かんざうりく ……佐藤直方
 女切手 ……女手形おんなてがた
 女組 ……娘組
 御繩打帳 ……繩打
 女若中おんなわかちゆう ……娘組
 乳母うだう ……めのと
 陰陽師いんやうし ……おんようじ
 陰陽道いんやうみち ……おんようどう
 陰明門いんめいもん ……いんめいもん
 恩役 ……給役きやく
 陰陽五行説 ……五行思想
 速流すみなが ……流

か

海外新聞 ……官板海外新聞
 槐記かいき ……台記たいき
 階級戦 ……赤旗しやくはた
 開関かいかん ……固関こかん
 小栗源氏おぐりげん ……甲斐國かいのくに
 開國始末 ……島田三郎
 外国人学校法案 ……教育三法
 皆済状みなさいじやう ……請取状きんしゆくじやう
 回章 ……廻文くわいぶん
 怪談 ……小泉八雲
 懷中歷 ……二中歴にちゅうりき
 海潮音 ……上田敏
 開通元宝 ……開元通宝
 開田園 ……絵園
 懷徳書院 ……懷徳堂
 海南義社 ……立志社
 甲斐府中藩かいふちゆうはん ……甲府藩
 解放 ……福田徳三
 海防私議 ……安井息軒
 解放令 ……部落解放運動、未
 解放部落
 開発領主かいはんりゆうしゆ ……かいはいつ
 りようしゆ
 甲斐妙法寺年録かいみほうじやうねんりく ……妙
 法寺記
 外務省外局がいむしよぐわん ……終戦連
 絡事務局
 傀儡師くわいぎし ……傀儡くわいぎ
 臥雲辰放ふしうんたけ ……臥雲式紡績
 機
 嘉永明党事件 ……高崎崩れ
 替錢屋かぎせんや ……割付屋わりふちや
 嘉悦氏房 ……九州改進黨
 替米かぎこめ ……為替わがひ
 替屋かぎや ……割付屋わりふちや
 歌權かごん ……歌垣かぎ
 河海抄かかいしやう ……花鳥余情かきうよじやう
 抱米かきこめ ……小作料
 加賀阿蘭梨かがあらんり ……日朝にっしやう
 鏡かけ ……鏡台

加冠 ……元服
 鶏眼^{けいがん} ……錢^{ぜに}
 書判^{しやうはん} ……花押^{かおし}
 覺慶 ……足利義昭
 隠目付^{かくめづけ} ……隠密^{いんみつ}
 学生^{がくせい} ……大衆
 覚禅房法胤^{かくぜんぼうはういん} ……槍術^{しやうじゆつ}
 学徒 ……大衆
 学道訓 ……貝原益軒
 角兵衛獅子 ……越後獅子^{えちごしし}
 神楽注秘抄^{かみづみせう} ……梁塵愚
 案抄^{あんせう}
 学侶 ……大衆
 閑老 ……老中
 掛鏡 ……懸仏^{けんぶつ}
 駆込願^{かこがね} ……駆込訴^{かこがね}
 懸札^{けんさ} ……壁書^{かべがき}、張紙
 懸保侶^{けんぼり} ……保侶^{ぼり}
 懸物押書^{けんぶつおし} ……押書、懸物状
 加減米 ……加損米
 かこい ……茶室
 華興会 ……中国革命同盟会
 笠石の碑 ……那須国造碑^{なすのくにのみすけいし}
 風折烏帽子^{ふうせきくさむし} ……烏帽子^{くさむし}
 挿頭抄^{さうとうせう} ……富士谷成章^{ふじやになり}
 飾太刀^{かざり} ……かざりたち
 笠付 ……冠付^{かむり}、前句付^{まへぐち}
 重柱^{おもむち} ……柱^{はしら}
 重四脚門^{おもよこし} ……四足門^{よもひ}
 飾松^{かざり} ……門松
 花山院集 ……花山天皇
 花山寺 ……元慶寺^{げんけい}
 梶井門跡 ……三千院^{さんぜんいん}
 賀集琺平^{がしゅうへい} ……かしゅうみんべい
 喝食^{がくしき} ……かっしき
 加治木錢^{かぢぎ} ……洪武錢^{ほうぶせん}
 樞原神宮^{しゅげんじんぐう} ……樞原^{しゅげん}
 加島銀行 ……加島屋
 加島正教^{かしましやうきやう} ……加島屋
 加島屋長次郎 ……日柳燕石^{にりゅうえんせき}
 勤修寺^{きんしゅうじ} ……釈教三
 十六歌仙絵
 貨殖論 ……畑中太沖^{はたなかたうしゆ}
 膳臣^{だんしん} ……膳夫^{だんぷ}
 主計寮^{しゆけいりやう} ……しゅけいりやう
 春日験記 ……春日権現験記
 春日宮^{かすみがきやう} ……施基
 皇子^{みこ}
 加須波留流^{かすなばりゅう} ……スハベル
 化政期 ……文化文政時代
 過錢^{かぜん} ……過意
 歌仙歌集 ……三十六人家集
 かたい ……乞食
 方忌^{かたし} ……方違^{かたがひ}
 荷田大入啓^{かたにだいらけい}、荷田大入創学校
 啓 ……創学校啓^{そうちがくけい}
 片桐石州 ……片桐貞昌

片子^{せん} ……地子^{ぢし}
 加太神社 ……淡島神社^{たんじまじん}
 結政請印^{けいせいしん} ……結政所^{けいせいしよ}
 方塞^{かたさい} ……方違^{かたがひ}
 徒士衆^{だししゆ} ……走衆^{ししゆ}
 月光菩薩^{ごうがくはつさつ} ……薬師三尊像
 喝食行者^{がくしきぎやう} ……喝食^{がくしき}
 勝手 ……厨^{くり}
 葛城神道^{かつらぎしんどう} ……雲伝神道^{うんでんしんどう}
 桂宮本万葉集^{けいみやほんまふし} ……桂
 本万葉集
 桂万葉集 ……桂本万葉集
 勝麟太郎 ……勝海舟
 カテキズモ ……ドチリナーキ
 リンタン
 加藤明成 ……会津騒動
 加得 ……加地子^{かぢし}
 可得分 ……加得錢^{かてせん}
 門地^{かぢ} ……浮免高^{うきまへたか}
 花内記 ……妙機記^{めうき}
 仮名性理 ……千代茂登草^{ちよもとのもろこ}
 かなよみ新聞 ……仮名垣魯文
 金沢欄^{かなざわらん} ……後三年の役
 曲尺^{まがぢ} ……かねざし
 兼仲記・兼仲卿記 ……勘仲記
 金飛脚 ……飛脚問屋
 狩野文庫^{かうのぶんこ} ……狩野亨吉^{かうのこうきち}
 加判の列 ……老中
 加判の列上座 ……老中
 かぶき者 ……旗本奴^{はたもと}
 臥仏^{ふし} ……涅槃像^{ねはんざう}
 鹿卜^{しかう} ……太占^{たうせん}
 鎌倉右大臣家集 ……金槐和歌
 集^{きんかいわ}
 鎌倉殿 ……鎌倉府
 釜子 ……庭子^{にわ}
 かまこ ……門屋^{かど}
 釜大工^{かまだい} ……釜師^{かまじ}
 釜座^{かまざ} ……かまんざ
 神風特攻隊 ……特別攻撃隊
 上方郡代 ……京都代官
 紙衣^{しえ} ……紙子^し
 紙漉座^{しりぞ} ……紙座
 上毛野君^{かみけ} ……毛野氏^け
 上太子^{かみ} ……叡福寺
 紙船役 ……紙漉運上^{しりぞうりやう}
 上町供御人^{かみまちきみ} ……今町供御
 人^{にん}
 冠句^{かむり} ……冠付^{かむり}
 亀井勝一郎 ……日本浪曼派
 龜山院御凶事記 ……西園寺公
 衡^{こうへい}
 龜山隊 ……海援隊
 賀茂川染 ……友禪染
 鴨の騒立 ……三河加茂一揆
 加茂二郎^{かまぢやう} ……源義綱
 賀茂御祖神社^{かまのみそじん} ……賀茂
 神社
 鴨祐之^{かみ} ……日本逸史

掃部寮^{さうぶしやう} ……かもんりやう
 賀茂別雷^{かまのべ} ……賀茂神社
 紙屋院^{しやういん} ……かみやいん
 加役方人足寄場 ……人足寄場
 萱齋院^{かやういん} ……式子内親王^{しきしうないしん}
 親興丁 ……興^{きん}、親興丁座^{しんきやうていざ}
 唐衣^{からぎ} ……甘藷
 取次^{とり} ……ぎょじゅ
 うがいげん
 韓鍛冶部^{かんたうぎぶ} ……鍛冶部
 唐紙・唐紙障子 ……障子
 輕尻^{かろし} ……からつちり
 烏丸殿^{から} ……東三条殿
 枯山水^{から} ……かれさんすい
 狩獲^{かう} ……狩袴^{かうはかま}
 借上^{かり} ……かしあげ
 狩衣^{かうい} ……小直衣^{せうちき}
 かり子 ……門屋^{かど}
 苅敷山^{かり} ……秣場^{もくぢやう}
 借書^{かり}、借状^{かり} ……借券^{かり}
 刈畑 ……焼畑
 行宮^{かう} ……あんぐう
 狩矢 ……野矢^{のや}
 輕衫^{かろ} ……伊賀袴
 繻^{かろ} ……ほしいい
 枯尾花^{から} ……榎本其角^{えのもと}
 川明^{かわ} ……川留^{かわり}
 河井恒久 ……新編鎌倉志
 河合義虎 ……龜戸事件^{かひの}
 川崎重工業 ……川崎造船所
 川崎正藏^{かわさき} ……川崎造船
 所
 為替^{かわせ} ……かわせ
 替錢^{かへ} ……かえせに
 替米^{かへ} ……米^{かへ}
 西漢(西文)氏^{かみ} ……西文首
 川支^{かわ} ……川留^{かわり}
 皮作^{かわ} ……革田^{かわ}
 川中島城 ……海津城^{かいづ}
 革屋 ……革田^{かわ}
 河原院^{かわら} ……源融^{げんりゆう}
 河原左大臣^{かわら} ……源融^{げんりゆう}
 官位抄 ……職原抄^{しやくげん}
 監院 ……監寺^{かんと}
 神明憑依^{かみ} ……託宣
 官学アカデミズム ……近代史
 学、皇国史觀
 勸学講院 ……勸学院
 漢学所 ……皇学所
 勘過料 ……関錢^{かんせん}
 貫弓記^{かんき} ……実躬卿記^{じつこう}
 官權党 ……吏党
 菅公 ……菅原道真
 元号^{げん} ……年号
 元興寺^{げん} ……玄朝
 官公券 ……日本官公庁労働組
 合協議会
 顯石代^{けん} ……石代納^{いし}
 神崎^{かみ} ……河尻^か
 菅三品^{かん} ……菅原文時^{かん}
 監事 ……使番^し